

研究課題名	交感神経応答誘発閾値を用いたレミフェンタニル感受性指標と、ロボット麻酔システムにおけるレミフェンタニル必要量の関係の評価
研究期間	実施許可日～2029年3月31日
研究の対象	2024年10月～2028年3月の間に広島大学病院で全身麻酔を受け、レミフェンタニル感受性指標の測定とロボット麻酔システムによる麻酔管理を受けた患者さん
研究の目的・方法	<p>研究目的：近年、全身麻酔の補助としてロボット麻酔システムが臨床で使用可能となりました。ロボット麻酔システムにおいては鎮痛薬（レミフェンタニル）と鎮静薬（プロポフォール）の投与量は脳波（BIS）を指標として調整しており、レミフェンタニル感受性の低い方においてはレミフェンタニル感受性が高い方と比べて最適な投与量に到達するまで時間がかかる可能性があります。我々の研究チームが発見した個人のレミフェンタニル感受性指標とロボット麻酔システムにおけるレミフェンタニル投与量の関係を明らかにし、ロボット麻酔システムの改善に寄与しうるか評価することが本研究の目的です。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータと、麻酔中の生体情報、ロボット麻酔システムのモニターをします。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：年齢、性別、身長、体重、手術年月、手術内容、既存疾患、麻酔方法、麻酔におけるリスク因子、術前に評価した個人のレミフェンタニル感受性指標、ロボット麻酔システムにおける薬剤の投与量および目標血中濃度</p> <p>情報の管理責任者：</p> <p>医系科学研究科麻酔蘇生学 准教授 佐伯 昇</p>
利用または提供を開始する予定日	2025年7月28日（実施許可日以降）
個人情報の保護	<p>情報は研究に使用する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、取り扱います。</p> <p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p>
外部への試料・情報の提供	ありません
研究組織	<p>本学の研究責任者</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科麻酔蘇生学 准教授 佐伯 昇</p>
その他	
研究への利用を辞	研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしく

退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>はその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。</p> <p>なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学大学院医系科学研究科 麻酔蘇生学 准教授 佐伯 昇 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5267</p>
-----------------	--